

道路建設工事における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	17~18	現場作業が終わり、資材置場までの移動中で前方不注意により3tダンプで停車中の一般車両に追突した。	42	—
4	21~22	夜センターラインの照度確認のため1人で写真撮影している際、黄色の作業車が南側車線の路肩に停車していた。写真撮影のために対向車線に黒板を持って出たところ、東から西方向に走行し作業車を追い越し中の車にひかれた。	68	1~9
7	12~13	労働者が国道を舗装中、国道沿いの建物の駐車場から乗用車が道路に出た際、ブレーキとアクセルを踏み間違え前方の乗用車に追突し、その衝撃でハンドルを切ってしまい、工事中の労働者と他作業員の合計2人に接触し、さらにコンバインドローラにぶつかり停止した。	59	10~29
7	13~14	工事施工場所へ向うため、徒歩で路側帯内を進んでいたとき、後方から走って来たライトバンにはねられた。	33	1~9
7	15~16	一車線規制をしている中で舗装工事をしていたとき、規制用のカラーコーンに走行車両（一般通行車両）が接触した。その際、カラーコーン上部のピカピカライト（保安灯）の乾電池が飛散し、被災者の右肘に当たった。	34	1~9
7	14~15	路肩規制を行い、草刈作業を実施中、警備員の笛の指示に従い作業を中断し、車両が通過するのを待っていた。その際、左外側線より草刈機の先端が車道に出ており、後方より走行して来た軽乗用車の前方と接触した。その反動で左横方向に一回転し負傷した。	24	1~9
	15~	現場が終了し、自社へ帰る途中、雨の中、走行して、カーブ部分でハンドル操作を		10

10	16	誤り、スリップして車が外壁に接触してハンドル部分に胸部を打撲被災したものである。	75	～
				29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html